

学 校 法 人 新 庄 学 園
新 庄 東 高 等 学 校

令和6年度
数学科

教科目学習計画

～ 校 訓 ～

“自らの手で人生を開拓しよう”

それは努力によって　そして方法を考えて　すべて敬虔な態度で

教科	数学	科目	数学Ⅰ	学年	1	コース	E	単位数	3	担当者	片山
使用教科書	高等学校 数学Ⅰ										
副教材	スタディサプリ										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。個人毎に進度・深度が変わることもある。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数	6 4	8	第2節 2次関数の値の変化	10	1	数A先取り 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	5
5	第3節 1次不等式	10	9	第3節 2次方程式と2次不等式	10	2	第2節 確率 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	5 4
6	第2章 集合と命題	10	10	第4章 図形と計量 第1節 三角比	10	3	第2節 空間図形	4
7	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	6	11	第2節 三角形への応用	10	※ 2学期までの進度を確認し 数学Ⅰの総復習を行う	4	
			12	第5章 データの分析	10			

教科	数学	科目	数Ⅰ・A	学年	1	コース	A	単位数	I:3 A:2	担当者	石川
使用教科書	高等学校 数学Ⅰ、 高等学校 数学A										
副教材	REPEAT 数学Ⅰ+A チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A 新課程										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようとする態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数Ⅰ 第1章 数と式 第1節 式と計算	15	8	第3節 2次方程式と2次不等式	15	1	数Ⅰ 第5章 データの分析	10
5	第2節 実数 第3節 1次不等式	10 10	9	第4章 図形と計量 第1節 三角比	13	2	数A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	10
6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	10	10	第2章 集合と命題	15	3	数学ⅠA 問題演習	10
7	第2節 2次関数の値の変化	10	11	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	15			
			12	第2節 確率	15			

教科	数学	科目	数I・A	学年	1	コース	S	単位数	5	担当者	安彦 中島 北村
使用教科書	高等学校 数学I、 高等学校 数学A										
副教材	REPEAT 数学I+A										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数I 第1章 数と式 第1節 式と計算	15	8	第3節 2次方程式と2次不等式	15	1	数I 第5章 データの分析	15
5	第2節 実数 第3節 1次不等式	10 10	9	第4章 図形と計量 第1節 三角比	13	2	数A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	10
6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	10	10	第2章 集合と命題	15	3	第3章 数学と人間の活動	10
7	第2節 2次関数の値の変化	10	11	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	15			
			12	第2節 確率	15			

教科	数学	科目	数I・A	学年	1	コース	T	単位数	5	担当者	加藤
使用教科書	高等学校 数学I、 高等学校 数学A										
副教材	REPEAT 数学I+A										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数I 第1章 数と式 第1節 式と計算	15	8	第3節 2次方程式と2次不等式	15	1	数I 第5章 データの分析	15
5	第2節 実数 第3節 1次不等式	10 10	9	第4章 図形と計量 第1節 三角比	13	2	数A 第2章 図形の性質 第1節 平面図形	10
6	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	10	10	第2章 集合と命題	15	3	第3章 数学と人間の活動	10
7	第2節 2次関数の値の変化	10	11	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	15			
			12	第2節 確率	15			

教科	数学	科目	数学B	学年	2	コース	EA	単位数	2	担当者	中島
使用教科書	高等学校 数学B (数研出版)										
副教材	チャート式 基礎からの数学Ⅱ・B (数研出版) 4STEP 数学Ⅱ+B (数研出版)										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートの評価方法については、授業でお伝えします。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 数列		9	第2章 統計的な推測		1	問題演習	15
5	第1節 等差数列と等比数列	10	10	第1節 確率分布	10	2		
6	第2節 いろいろな数列	6	11	第2節 統計的な推測	15	3		
7	第3節 漸化式と数学的帰納法	6	12					

教科	数学	科目	数Ⅱ	学年	2	コース	講座1	単位数	4	担当者	中島
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）										
副教材	チャート式 基礎からの数学Ⅱ・B（数研出版） 4プロセス 数学Ⅱ+B（数研出版）										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートの評価については、授業で詳細を説明します。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明	12	8	第4章 三角関数 第1節 三角関数	20	1	第3節 積分法	10
5	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	16	9	第2節 加法定理		2		
6	第2節 高次方程式		10	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	24	3	問題演習	10
7	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	20	11	第2節 対数関数				
	第2節 円		12	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	15			
	第3節 軌跡と領域			第2節 関数の値の変化				

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	コース	講座2	単位数	4	担当者	片山 加藤 石川
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）										
副教材	REPEAT 数学Ⅱ（数研出版）										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 式と証明		8	第3章 図形と方程式		1	第5章 指数関数と対数関数	
	第1節 式と計算	15	9	第1節 点と直線	15	2	第1節 指数関数	10
5				第2節 円	20			
	第2節 等式と不等式	10	10	第3節 軌跡と領域	15	3	第2節 対数関数	10
6	第2章 複素数と方程式							
	第1節 複素数と2次方程式の解	10		第4章 三角関数	15			
			11					
7	第2節 高次方程式	10	12					

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	2	コース	講座③	単位数	4	担当者	北村 安彦
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）										
副教材	REPEAT 数学Ⅱ（数研出版）										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	○レポートの評価の観点 1, 数値の計算が正しいか 2, 定理・定義が適切に使われているか 3, 図やグラフが適切に使われているか 4, まとめがしっかりかけているか 5, 字は丁寧に書いているか										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第1章 式と証明 第1節 式と計算 ・3次式の展開と因数分解	12	8	第2節 高次方程式 ・剰余の定理と因数定理	4	1	比・割合・単位換算	20
5	・整式の割り算 ・分数式とその計算	8	9	・高次方程式	8	2	図形の性質	10
6	第2章 第1節 複素数と2次方程式の解 ・複素数とその計算	11	10	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	12	3	空間図形	
7	・2次方程式の解 ・解と係数の関係	6	11	分数 倍数・約数	3			
			12	四則計算				

教科	数学	科目	数学ⅢC	学年	3	コース	EA	単位数	3, 2	担当者	安彦
使用教科書	数研出版 数学Ⅲ、数学C										
副教材	チャート式 基礎からの数学Ⅲ (数研出版)										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。 数学C 第4章 式と曲線については、夏期休業期間中に各自実施										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	数学C 第2章 空間ベクトル	8	8	数学Ⅲ 第5章 積分法	20	1	共通テスト演習	5
	数学C 第3章 複素数平面	8	9					
5	数学Ⅲ 第1章 関数	5						
	数学Ⅲ 第2章 極限	15	10	数学Ⅲ 第6章 積分法の応用	20			
6	数学Ⅲ 第3章 微分法	15	11	数学ⅢC復習、共通テスト演習	20			
7	数学Ⅲ 第4章 微分法の応用	15	12	数学ⅢC復習、共通テスト演習	15			

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3	コース	ST	単位数	3	担当者	加藤 石川 中島
使用教科書	改訂版 高等学校数学Ⅱ（数研出版）										
副教材	REPEAT数学Ⅱ（数研出版）										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	第6章 微分法と積分法	10	8	数学総復習 ↓	45	1	数学総復習	10
	第1節 微分係数と導関数		9					
5	第2節 関数の値の変化	10	10					
6	第3節 積分法	10	11					
7	復習	5	12					

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3	コース	講座3	単位数	3	担当者	片山
使用教科書	高等学校 数学Ⅱ（数研出版）										
副教材	REPEAT 数学Ⅱ（数研出版）										
目標	①数学における基本的な事項を理解し、活用する力を身につける。 ②事象を論理的に考察する力を養う。 ③事象を論理的に表現する力を養う。 ④自らの課題を分析し、改善しようと努める態度を養う。 ⑤仲間とともに事象について考察し、評価・改善する態度を養う。										
備考	レポートや口頭試問を実施する際は、実施前に評価基準の詳細を提示する。										

年間学習実施計画：単元

1学期			2学期			3学期		
月	単元	時数	月	単元	時数	月	単元	時数
4	文字式の展開	10	8	第2節 対数関数	5	1	ライフプランニング	10
5	第4章 三角関数		9	第6章 微分法と積分法				
	第1節 三角関数	10		第1節 微分係数と導関数	10			
	第2節 加法定理	5	10	第2節 関数の値と変化	10			
6・7	指数計算	5	11	第3節 積分法	10			
	第5章 指数関数と対数関数							
	第1節 指数関数	5	12	探究活動	10			